

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月16日 更新

事務事業名		人材(財)バンク登録事業				☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	市長公室	課長名	佐藤 美和
	施策	1	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	企画課	担当者名	宮崎 早香
	施策の柱	2	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保			所属班	企画広報班	(内線)	1254
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 13	事業連番 11555	根拠法令	合志市人材(財)バンク設置要綱	
終了、開始年度		☒ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 23 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	自らの経験と知識を生かして市の発展に貢献したいと思っている人材を発掘し、市政への参画の機会を増やすため、人材(財)バンクを設置する。各種委員会等の委員募集の際に担当課から紹介の要望があれば連絡先を伝える。
【業務の流れ】	①様々な経歴や知識を持った人、市政に参画し市の発展に貢献したいと思っている人の人材(財)バンクへの登録募集②登録認定事務③ライブラリで庁内に名簿を公表④各種委員会への参画依頼④3年ごとに更新確認通知
【主な予算費目】	役務費
【意見や要望】	市長マニフェスト項目として取り組みを開始。平成23年12月、合志市人材(財)バンク設置要綱を制定し、講師としての登録を開始。平成24年12月、要綱を改正し市政参画人材の登録を開始。令和5年3月、要綱を改正し、講師としての登録を生涯学習人材バンクに統合。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 登録制度を見直し、市政への参画を希望する人材へ特化した制度へ見直しを行った。以前の制度に登録していた人材へ通知を送付し、希望者を新制度に登録した。新制度登録者7人。HP、グループウェア新着情報、広報9月号で登録者募集を行い、市政への参画を希望する人材発掘に努めた。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・市政参画人材登録者募集(HP・広報紙・グループウェア新着情報) ・登録者の公表(ライブラリ)及び委員会等募集部署での活用 令和6年度から11542:ボランティア表彰事業へ統合する
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ア 人材(財)バンク登録者数	人	ボランティア表彰事業(11542)へ統合することによる事業費の減
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
⇒イ ・市民		⇒ア 人材(財)バンク制度周知回数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
⇒イ ・市政への参加を促す		⇒ア 登録者が実際に活動した回数
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
・学習内容が今後活かされると答えた利用者数を指標にすることにより、利用者に知識や能力が身につく、登録者の地域への貢献度が測れると考えた。		全体計画
		～ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	人		27	25	30	7	0	0	0	0
	イ									
	回		0	1	5	3	0	0	0	0
② 対象指標	イ									
	回		0	0	0	0	0	0	0	0
③ 成果指標	イ									
	回		0	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
投資入費量	事業費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円		2	7	7			
		(A) 事業費計	千円	0	2	7	7	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	3	2	1	0	0	0
人件費	延べ業務時間	時間	10	188	80	100	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	39	715	318	364	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	39	717	325	371	0	0	0

事務事業名	人材（財）バンク登録事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	--------------	-----	------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5年度の後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☐ 達成した 市HPの更新・庁内グループウェア・広報紙（R5.9月号）に掲載し、計3回の制度周知を行なった。	☒ 達成しなかった ⇒【原因】
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 広報紙・HP・すでに委員をしている方への周知を行ない、市政参画人材の登録を促す。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 制度の周知回数を増やし、登録者数を増やす。また、登録者が委員となれば目標を達成する。	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和6年度から11542：ボランティア表彰事業へ統廃合する	☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 必要最小限の役務費のみ。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 経常的な事務にかかる人件費は、削減の余地がない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 対象は、市政に参画し市の発展に貢献したいと思っている人としており、登録に関して費用は発生しない為適正である。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 市政に参画し市の発展に貢献したいと思う市民を活用する事業なので、市の役割は適正である。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

令和5年度の登録者7名。制度利用の問い合わせ（庁内）は0件だった。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<